

処理に係る課題と議論の方向性

1 今後の議論の方針

- 都が今年度実施している「太陽光発電設備 3 R 推進に係る基礎調査」において、現時点の使用済太陽光発電設備の処理及びリサイクルの方法、流れ、その費用等を把握するため、太陽光発電設備の処理やリサイクルを行っている関係事業者等に対してアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。
- 関係事業者等からは、廃棄費用負担に係る事項から処理技術に係る事項まで様々な課題が挙げられた。しかし、本来、国が実施すべきことや他の行政施策に関わることも含まれており、これら全ての課題について本検討会で議論することは適当ではない。
- したがって、国が実施すべきことや他の行政施策に関わることについては、課題の指摘と当該課題を所掌する機関への働きかけに留めることとし、本検討会では、適正処理及びリサイクルを促進する観点から議論が必要な課題に絞るべきではないか。

2 本検討会で議論すべき課題

- 本検討会で議論する課題は、太陽光パネルの中でも住宅用のものが圧倒的多数を占める東京の特徴や国との役割分担などを踏まえた上で、以下の観点を考慮して絞ることとする。
 - i) 適正処理を行うに当たり必須となる事項
 - ii) リサイクルを実現するに当たり必須となる事項
 - iii) リサイクルを促進させるに当たり実現が望ましい事項
 - iv) その他これらに類する事項
- 本格的に排出される時期はもう少し先であるが、仕組みが固まる前に押さえておくべき事項については本検討会の議論の対象とする。



【論点整理】

- ①取外しの際の役割分担
- ②効率的な収集運搬のための積替え保管
- ③処理技術の特徴を活かしたリサイクルのルート構築
- ④処理・リサイクルの方法、コストの周知

表1 適正処理・リサイクルに係る課題の整理表

分類	全体	取外し	収集運搬	中間処分	3R	最終処分
技術的側面	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 排出量の推計 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場破砕の有害物質対応 <input type="checkbox"/> 感電リスク <input type="checkbox"/> パネル破損、断線のリスク <input type="checkbox"/> 漏電火災リスク 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> パネル破損リスク 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受入条件が不明確 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建材一体型パネルのリサイクル技術が未確立 <input type="checkbox"/> リユース・リサイクルの検査のタイミング ◎リユースの基準 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受入条件が不明確 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質の管理 ⇒環境省ガイドラインで管理型埋立を明確化
経済的側面	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 処理費を担保する仕組み <input type="checkbox"/> コスト削減のための規制緩和 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ユーザー撤去の場合、費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 空家の場合、処理費用負担者が不明 	<ul style="list-style-type: none"> ◎少量排出の場合は、運搬が非効率 <input type="checkbox"/> 処理費用について認知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◎処理技術によって得られる資源量、質が変わる ◎処理費用について認知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> パネル種類によって、リサイクル方法が異なる ⇒既に異なる対策を採っている ◎メーカー、型式等により、資源価値が異なる <input type="checkbox"/> 銀含有率が低いと精錬業者が引き取らない <input type="checkbox"/> リユース市場の形成 <input type="checkbox"/> リユース等の保証のタイミング <input type="checkbox"/> リサイクルへのインセンティブ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎処理費用について認知されていない
その他	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発生抑制方策が大切 <input type="checkbox"/> 先駆的な取組を行っている事業者を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◎誰が取り外すのが適当であるか（解体業者又は施工業者） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎設備がどこに設置されているのか把握する必要 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 将来、処理能力が不足するおそれ ◎破砕する条件、環境整備について方向性がない 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 行政と業界が連携したリサイクルのルールづくり <input type="checkbox"/> リサイクル資源の利用先を確保 <input type="checkbox"/> リサイクルの法制度等が未整備 <input type="checkbox"/> 海外リユース先では最終処分方法が未確立 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 管理型最終処分場の数、残余年数が少ない ⇒最優先事項として取組 ◎パネルは管理型で埋め立てるべきであることが認知されていない

(凡例) ◎：本検討会で整理する課題、□：その他の課題、：解決又は措置済み